

大阪損保革新懇ニュース

NO. 12
99.8.2

大阪損保革新懇事務局 〇六(六二三)二〇九五
大阪市中央区道修町三の三の十
大阪屋道修町ビル五F 道修商事(株)内

大阪損保革新懇 (本町)

記念講演は

品川正治氏が快諾!

(経済同友会元副代表幹事、現日本火災相談役)

テーマ「二十一世紀の経済社会と保険業の新しい進路」

10・8 (金)

PM6:30 大阪府商工会館 (本町)

「二十一世紀の損保産業のあり方について」仲間に問いかけ、損保の民主化をめざし運動を呼びかけて結成した大阪損保革新懇は、この十月、一周年を迎えます。

七月十二日開催した拡大世話人会議では、
① 一周年記念総会を十月八日(金)大阪府商工会館大講堂で開催する。

② 記念講演には、経済同友会元副代表幹事、現日本火災相談役である品川正治氏にお願いする
ことを確認しました。

品川正治氏の講演が実現

業界紙「インシユアランス」新年号に掲載された特集・新春対談「経済社会の変革と保険業の新しい進路」新世紀へのパスポートを探る」を読んだ仲間から、「一周年記念総会の記念講演には、ぜひ品川正治氏を」という要望があり、世話人会議で講演をお願いすることを正式に確認し、実現したものです。

野村代表世話人より、上京のうえ品川さんと面談の結果、快く引き受けていただいた旨の報告を受けた時には、世話人会議出席者一同、「念願が叶った喜びと同時に身の引き締まる思い」でした。

品川さんの発言に共感(参加者の発言から)

○品川さんの新春対談を読みましたが、たいへん共感しました。私たちが主張してきた「損保のあり方」「損保の民主化」について相通じる点があり、職場の幅広い仲間に参加をよびかけたい

○損保産業の二十一世紀の展望を考えると、品川さんの主張は思想・信条・あらゆる立場の違いをこえて損保人に問題提起がされておる、これを超えるのは、二十一世紀を担う我々だという立場で講演を聞いてみたい。

○今職場では、従業員犠牲の「なんでもあり」の「効率化」「合理化」がまかりとおり、とも

すれば「怒り」や「悔しさ」「感動」を忘れがちだが、損保で働く者が、二十一世紀の損保のあり方について主体的に関わっていくきっかけにしたい。その意味でも職場の若い仲間

○損保OBの方々にもぜひ聞いてもらうため大きくよびかけたい。

○大阪の本部長や支店長、役員、部長クラスにも招待状を出すくらいの取組にしたい。

取組規模を世話人会で確認。

- ◎講演参加者・四〇〇名
- ◎会員更新と新会員・四〇〇名
- ◎会場・大阪府商工会館(本町)七階大講堂

品川正治 (しながわまさじ) 氏のプロフィール

現 日本火災・相談役 経済同友会 終身幹事
一九二四年生まれ(七五才) 東京大学法学部卒
全日本損害保険労働組合日本火災支部執行委員長
全日本損害保険労働組合中央執行副委員長
一九八四 日本火災海上保険(株)代表取締役社長
一九八九 同 取締役会長
一九九二 同 同 代表取締役
経済同友会 副代表幹事・専務理事を歴任

公共事業 財界人の 直言

「しんぶん赤旗」(9.1.30)「大企業の軸足をのこした戦後の経済政策を、個人・家計部門に軸足をのこした国づくりの切り替えることが重要だ」と、野村代表世話人・三浦事務局長は、拡大世話人会議での「記念総会」はグリーンビル大会議室でおこなうという確認を受け、日本損害保険協会大阪支部に会場使用の申し入れをおこなった。七月二二日、野村代表世話人・三浦事務局長は、拡大世話人会議での「記念総会」はグリーンビル大会議室でおこなうという確認を受け、日本損害保険協会大阪支部に会場使用の申し入れをおこなった。

公共事業改革の本質

「既得権益構造の打破」
なかでも、公共事業改革は、経済・社会の発展に貢献し、新しい日本を創造する待望の試金石である。これまで、公共事業改革を推進してきたのは、長年にわたる強固な既得権益構造であった。この膨大な既得権益の恩恵にあずかる層の抵抗を排除し、政治や行政の仕組を根柢から改めない限り、公共事業の本質的な改革は不可能である。

品川さんの発言から

○私は今後も、損保の料率問題に関しては、社会の連帯という要素をもっと慎重に考えないといけないと思います。「災害を受けた人は不幸なのだから、それを共に支援し救済するのが、単一レートの基本理念ではないか」ということです。私は自由化、規制緩和、あるいは市場主義イコール自由レートということに短絡してはならないと考えます。



品川 正治さん
経済同友会元副代表幹事
日本火災海上保険相談役

工事のための工事はもう限界

の旨や地方議員です。日本の公共事業は、国際的にみても本場に属する。たまたまメンテナンスの目的で、

財界の論客・品川さん

品川さんは、よく「財界の論客」と言われます。経済人が個人加入する財界団体・経済同友会で、財政・税制委員会の会長など要職を務められました。夏の軽井沢セミナーでの発言もよく経済誌で紹介されます。

新春対談

経済社会の変革と保険業の新しい進路

「インシユアランス」九九年一月号の記事を読みみたい方は事務局まで

協会大阪支部に会場使用を申し入れ

七月二二日、野村代表世話人・三浦事務局長は、拡大世話人会議での「記念総会」はグリーンビル大会議室でおこなうという確認を受け、日本損害保険協会大阪支部に会場使用の申し入れをおこなった。

「赤旗」日曜版にも登場

品川さんは、今年一月三十一日付の「しんぶん赤旗日曜版」の全面記「公共事業・財界人の直言」工事のための工事はもう限界」に写真入りで登場、インタビューが掲載されています。そこでは、ゼネコン・大企業・族議員・地方政治家たちによる「公共事業複合体」を「既得権益構造」であり「日本のガン」ときびしく批判しています。